

旅の目的地にしたい、日本のすごい建築120。

BRUTUS
Casa

MAGAZINE HOUSE MOOK extra issue
カーサ ブルータス特別編集

Architecture Tour in Japan
建築を巡る旅。

藤本壮介が設計、
マルホンまきあーとテラス！

【スター建築家】石上純也／田根剛／藤本壮介／平田晃久／サポーズデザインオフィス
【巨匠建築家】安藤忠雄／坂 茂／青木淳／隈研吾／妹島和世
【東京の建築】THE TOKYO TOILET／内藤廣の渋谷案内
【旅の目的地】広場／宿／ミュージアム／デスティネーション／社寺

Museum

【ミュージアム】

長野 | 長野

長野県立美術館

宮崎 浩

Nagano Prefectural Art Museum (2021)
by Hiroshi Miyazaki

長野市の善光寺に面する城山公園内にあった〈長野県信濃美術館〉(1966年、林昌二設計)の改築・整備事業で生まれた美術館。公園と道路の間の約10mの段差に建物を埋め込み、ランドスケープと建築を一体的に計画する「ランドスケープ・ミュージアム」として設計された。公開スペースであるブリッジ下の水盤から

は中谷美子による常設展示作品《霧の彫刻 #47610—Dynamic Earth Series I—》の霧(写真)が湧き上がる。隣接する〈東山魁夷館〉(1990年、谷口吉生設計・改修設計)も同時に増築・改修した。●長野県長野市箱清水1-4-4 ☎050-554 2-8600 (ハローダイヤル)。9時~17時(入館~16時30分)。水曜休

みやざきひろし 1952年福岡県生まれ。早稲田大学大学院修士後、横総合計画事務所を経て、1989年プランツアソシエイツ設立。〈長野県立美術館〉で日本建築学会賞(作品賞)受賞。

富山 | 富山

富山県美術館

内藤 廣

Toyama Prefectural Museum of Art and Design (2017)
by Hiroshi Naito

2016年に閉館した〈富山県立近代美術館〉のコレクションを引き継ぎ、富岩運河環水公園に建てられた。橋を斜めに切り取ったようなガラス張りの正面からは運河や立山連峰を望む。手すりの腰壁や天井には富山の主要産品であるアルミ、壁や扉などには県産材である氷見の里山スギが使われている。この美術館の特徴を

内藤は「目に見えないさまざまな体験ができる」と話す。佐藤卓デザインによる遊具が並ぶ屋上庭園、三沢厚彦による《ANIMALS》のクマの彫刻(写真)が堂々と立つ屋外広場も訪れたい。●富山県富山市木場町3-20 ☎076-431-2711。9時30分~18時(入館~17時30分)。水曜休(祝日の場合は翌平日休)。

ないとうひろし 1950年神奈川県生まれ。早稲田大学大学院にて吉阪隆正に師事。菊竹清訓建築設計事務所を経て、1981年内藤廣建築設計事務所を設立する。東京大学名誉教授。

広島 | 福山

洗庭

名和晃平 | Sandwich

Kohte (2016)
by Kohei Nawa | Sandwich

全長46m、高さ10mの大迫力。65万枚の薄い板で覆われた巨大な舟形の建物は、瀬戸内の禅寺(神勝寺)の境内にあるアートパビリオンだ。有機的な曲線は、桂離宮古書院の屋根にも見られるこけら葺きの技法を応用したもの。鉄柱を支える建物の下に立つと、一枚一枚丁寧にサワラ材を張った職人の手仕事を見ることが

できる。内部には自然光が一切入らない。暗闇の空間で水と光のインスタレーションを体験した後は、「洗(=水が湧き広がる)庭」の名の通り、石組みで海を表したようなランドスケープを堪能できる。●広島県福山市沼隈町上山南91 ☎084-98 8-1111。9時~17時(受付~16時30分)。拝観料1,500円。

なわこうへい 彫刻家。1975年大阪府生まれ。2009年にクリエイティブユニット〈Sandwich〉を立ち上げ、アートと建築を行き来するようなプロジェクトを手がける。

Museum

【ミュージアム】

大阪 | 大阪

大阪中之島美術館

遠藤克彦

Nakanoshima Museum of Art, Osaka (2021)
by Katsuhiko Endo

黒いプレキャストコンクリートパネルで覆われた5階建て。1~2階はショップやカフェなど周辺施設と連続する広場空間になっている。浸水リスクの観点から、展示フロアは4~5階に配置。来場者はパッサージュと呼ばれる、誰もが訪れることのできるオープンな吹き抜け空間を斜めに貫くエスカレーターで上がってい

く。フロアを移動するたび、視線がさまざまな方向へ抜け、水都・大阪の風景を切り取る。芝生広場では美の蔵を守るようにヤノベケンジの《SHIP'S CAT (Muse)》がお出迎え。●大阪府大阪市北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550。10時~17時(入館~16時30分、展覧会により異なる)。月曜休(祝日の場合は翌平日休)。

えんどうかつひこ 1970年神奈川県生まれ。建築家/茨城大学教授。東京大学大学院を経て、1997年事務所を設立。主な作品に〈豊田市自然観察の森ネイチャーセンター〉など。

岐阜 | 多治見

多治見市モザイクタイルミュージアム

藤森照信

Mosaic Tile Museum, Tajimi (2016)
by Terunobu Fujimori

施釉磁器モザイクタイル発祥の地に建つミュージアム。すり鉢状に傾斜した地面から建ちあがる姿は、タイルの原料を掘り出す粘土山を思わせる。外部の土壁に埋め込まれているのは、タイルと茶碗のかけら。内部に入り、土壁に覆われた長い階段を上りきると、真っ白で明るい空間へと出る。モザイクタイル絵などが並

ぶ4階展示室は、半屋外。西側の開口部には、色とりどりのモザイクタイルが付いた「カーテン」がかけられている。製工程や現在入手できる見本の展示などもあり、モザイクタイルの魅力を堪能できる。●岐阜県多治見市笠原町2082-5 ☎0572-43-5101。9時~17時(入館~16時30分)。月曜休(祝日の場合は翌平日休)。

ふじもりてるのぶ 1946年長野県生まれ。近代建築史・都市史の研究を経て、1991年建築家デビュー。東京大学名誉教授、工学院大学特任教授。東京都江戸東京博物館館長。

石川 | 金沢

谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館

谷口吉生

Yoshiro and Yoshio Taniguchi Museum of Architecture, Kanazawa (2019)
by Yoshio Taniguchi

谷口吉郎の住居跡地に建つ、建築と都市のためのミュージアム。寺社が多く建ち並ぶ風致地区であるため軒高は低く抑えられ、重厚な石とアルミルーバーで覆われた外観が周囲に溶け込む。常設展示では吉郎の代表作〈迎賓館赤坂離宮 和風別館「遊心亭」〉の「広間」と「茶室」が、水澤工務店の当時の職人らによって

忠実に再現された。日本のモダニズムを代表する父子の作品を体感できる贅沢な空間である。誰もが利用できるショップでは、吉生が手がけたニューヨーク近代美術館MoMAのグッズも扱う。●石川県金沢市寺町5-1-18 ☎076-247-3031。9時30分~17時(入館~16時30分)。月曜休(祝日の場合は翌平日休)。

たにぐちよしお 1937年東京都生まれ。丹下健三・都市・建築設計研究所を経て、谷口建築設計研究所設立。代表作に〈豊田市美術館〉(ニューヨーク近代美術館 新館)など。